

過去と未来の 架け橋となる 芝人

アルノー・ド・サン＝テグジュペリさん



平成25年(2013)、日本を訪れた外国人旅行者やビジネスマンの数が年間1,000万人を超えました。これから観光事業は、日本のビジネスの重点分野に位置付けられています。2020年の東京オリンピック開催が決まり、スタジアムと選手村を結ぶ大動脈として整備が進められている「新虎通り」に建設される、52階建ての高層複合ビル「虎ノ門ヒルズ」。ここにハイアット系列のホテル「アンダーズ 東京」がオープンすることになり、新旧多彩なまちづくりへの期待が高まります。

「日本は魅力的な国。暮らしてみないと本当の伝統や文化が学べないと感じていたので、日本で仕事ができることはとてもうれしいです」と話す、「アンダーズ 東京」の総支配人アルノー・ド・サン＝テグジュペリさんにお話をうかがいました。

総支配人は「星の王子さま」のお家柄

「人と関わり、感情が何かを動かしていく業界に憧れ、ホテルの仕事につきました。この仕事に自分らしさを感じています」と話すアルノーさん。自動車業界のマーケティングで成

功を収めた後、ホテル業界のマーケティングに携わり、その後ホテルマンとしてトレーニングを受け、平成19年(2007)にロンドンに最初の「アンダーズ」を開業し、総支配人に。この度、日本初上陸の「アンダーズ 東京」の総支配人に就任しました。

『星の王子さま』の作者アントワヌ・ド・サン＝テグジュペリは祖父のいこです。幼い頃から家名を大切に育てましたが、故郷のフランス以上に日本で、『サン＝テグジュペリ』という名前が親しまれていることに、うれしい驚きを感じました。『星の王子さま』には人間関係の絆が語られています。虎ノ門エリアの人々と『絆』を築くホテルをつくりたいです」とアルノーさんは話します。

「おもてなし」と地域の力

アルノーさんがめざすホテルのサービスは、筋書き通りの一辺倒のものではなく、その場に応じて心を込めるホスピタリティだそうで、昨今の「おもてなし」は、やや型にはまったものと感じているようです。

「予定された『おもてなし』ではなく、自由な形の『おもてなし』をめざしています。そのために、この地域に暮らす人々やお店の方々とコミュニティを築きながら、日本らしいホテルにしたい」と話します。琵琶製作者、呉服屋など地域に根付く店をいくつも巡り、店主と直接会ってコミュニケーションを深めながら、歴史のあ

るエリアの哲学を知る機会にしているとのこと。お客さまと地元の人びとやクリエイターとの交流の場として、定期的に「アンダーズサロン」を開催したいと思っていられるそうです。

さらに、「アンダーズ 東京」の内装デザインは、台湾系アメリカ人のデザイナー、トニー・チーさんと緒方慎一郎さんとのコラボレーション。トニー・チーさんは、幼い頃に台湾の日本家屋で育った思い出をデザインに盛り込みました。あたたかい自分の家に帰ってきたような日本的雰囲気を出すために和紙を多く用いており、日本の美意識を尊重し、シンプルでありながら洗練された空間になっています。

「昔ながらの風景を壊さず、過去と未来の架け橋になりたい」と語る、新しい芝人アルノーさん。「虎ノ門がこれからも大きく変化を遂げていくことを期待しています。東京はもちろん、日本や海外の皆さんが集まるエネルギーギッシュな場所になるでしょう。これまで災害や不況を経験した日本ですが、これからはポジティブな方向に向かっていくと思います。素晴らしい国、日本の一部となることに情熱をもって、楽しんで地域と共に歩みたいです」



インタビューを終え、星の王子さまの魂が、日本と世界の国々を結び、地域と未来の絆を深めていくのだと感じました。

[文 ■ 早川由紀]

Information

アンダーズ 東京
虎ノ門1-23-4
TEL 03-6830-1234

6月11日※
グランドオープン



イメージ図
アンダーズ 東京提供

東京を一望できる52階には、天空の花嫁が誕生するチャペルがあります。

●参考文献
朝日新聞 橋田正城 平成26年(2014)1月27日記事



新虎通り完成イメージ図

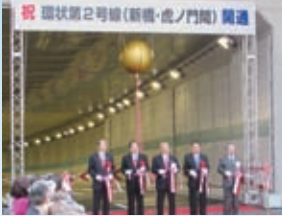


※1

新橋～虎ノ門間 開通イベントも続々

平成26年3月23日(日)にウォーキングイベントが開催され、抽選により選ばれた方が、新橋～虎ノ門間の地下トンネルを歩きました。

3月29日(土)開通式典が開かれ、武井港区長をはじめ、舛添東京都知事、太田国土交通大臣らが出席し、新橋～虎ノ門間が開通しました。



新虎通りであいましょう！

— 環状第2号線、新橋～虎ノ門が開通です —

皇居の周りをぐるっとまわる「内堀通り」。その外側の「外堀通り」を中心とする、神田佐久間町から四ッ谷、芝地区、有明までの道路が「環状第2号線」です。戦後復興のなか日本の都市計画の第一人者であり、当時の東京都建設局都市計画課長であった石川栄耀により計画されました。この春60年余のときを経て、新橋～虎ノ門間が開通となったのです。

環状第2号線、新橋～虎ノ門間は、地上は車道・歩道・自転車道で構成される「新虎通り」、地下は自動車専用の「築地虎ノ門トンネル」と、2層構造になっています。次の東京オリンピック会場ともなる有明へと至る環状第2号線は、この区間の開通を皮切りに、今後、臨海地域への渋滞を緩和し、空路から都心を訪れる方にも大変便利な道路となっていきます。

新虎通りの開通により、周辺エリアであるビジネスのまち「虎ノ門」、歴史的資産豊かな「愛宕」、そして繁華街でもあるおやじの聖地「新橋」が、今後どのように進化していくべきか？今回は新虎通りの計画に長年たずさわってこられた、東京大学名誉教授 篠原修さんにお話をうかがいました。



東京駅から皇居への行幸通りの再整備も手がけられた篠原さんは、「戦後にできたよい道路はないんだよ。だから新虎通りをよい道に!」とおっしゃいます。

新虎通りは、「広場の連なりが通りになる」というコンセプトで、広々とした歩道が広場となり、それらを広い交差点がつないでいます。街路樹は統一せず、山桜、サルスベリ、いろは紅葉、ハナミズキなど、場所ごとに季節の変化を楽しめる木々を、交差点には白い小さな花が咲くシマトネリコの木が植えられます。「歩くことで四季を感じられる、こういう街路樹は日本にはないんじゃないかな?」と篠原さん。

さらに「6年後の東京オリンピックで海外からいらっしゃる方のためにも、ここは東京なんだから、外国のまねではなく日本オリジナルの情報発信ができる街路をつくりたかった」、そして「ビルの上のしゃれたカフェから、行き交う人たちが楽しんでいるのを眺めてほしい」と熱く語られました。

温かみのあるレンガの歩道は建築家の小野寺康さん、和を感じさせるスタイリッシュな街路灯はデザイナーの南雲勝志さんと、どちらも全国各地の都市空間デザインをリードする方によるデザインです。

これまでに「グランスイート虎ノ門」「虎ノ門ヒルズ」「新橋プラザビル」と新しい高層の建物が完成していますが、新虎通り周辺の整備はこれからです。道は沿道の建物と一体になってこそ機能する

もの。今後の道路整備に、住民からも期待が集まります。沿道の方々からは、この地区を東京を代表するようなビジネス拠点にという声とともに、安全で緑豊かな、人々が集まり安心して住めるまちにしてほしい、という声が聞こえてきます。地域の再開発は時間のかかる事業ですが、新虎通りの存在は、沿道そして芝地区が下町情緒を残しながら、国際色豊かで魅力あふれるまちへと発展する架け橋になってくれることでしょう。

お話の最後に篠原さんは「気軽に飲みに来られる、カジュアルでリラックスできるまちになるといいな。新橋のおじさんインタビューをここでやってほしいよね(笑)」と、嬉しそうにおっしゃっていました。

季節の花々につつまれ散歩する、想像するとワクワクしますね。皆さんも、新虎通りで待ち合わせしませんか！



笑顔で語る篠原さん ※2

[文・写真(※2) ■ 森田友子]
[写真(※1) ■ 町田明夫]

- 取材協力
環状第二号線(新橋～虎ノ門)地上部道路景観検討委員会委員長 篠原修 東京大学名誉教授
- 参考文献
篠原修著 街路の格とアメニティ IATSS Review Vol.16, No.2 東京都再開発事務所・東京都第一建設事務所 環状第二号線新橋・虎ノ門地区 事業概要2013 東京都都市整備局 環状第二号線(新橋～虎ノ門)地上部道路景観検討委員会 報告書 港区 環状2号線周辺地区まちづくりガイドライン



なんだ?これは。「虎ノ門って知ってるか?」って…。

虎ノ門界限を歩いていたら、突如謎の覆面レスラーに遭遇した。

アニメの「タイガーマスク」を連想させる覆面に、なぜかネクタイを締めている。おなががブックリとしていて、その格好でいったい何を考えているのか、その表情からはいたって真面目な印象を受ける…といっても見えているのは口元だけだ。虎ノ門のイメージからほど遠い、このキャラクターはインパクト大。ん?でも「虎ノ門のイメージ」って何だろう?

謎の覆面レスラーは最近、名前が決まったばかりだ。彼の名前は「カモ虎課長」。200名以上の応募者の中から選ばれた「カモ虎課長」の生みの親である「COME



こんな
つぶやき
あります

ON!!虎ノ門製作委員会」の皆さんを訪ねた。

「COME ON!! 虎ノ門製作委員会」は、「CAFE and DINING FORESTA TORANOMON」にて不定期に活動中。メンバーは6名ほどで、職業も、団体職員や広告マン、カフェオーナーとさまざま。集まれるときに集まって、マイペースの活動を続けているという。

もともと「虎ノ門一丁目地区 まちづくりを考える会(独立行政法人都市再生機構主宰)」で、虎ノ門地区の老朽化した建物の建て替えや歩行者空間のあり方など、ハード面の見直しについて「都市再編計画」として話し合ってきた会合がきっかけだ。しかし、



ハード面のまちづくりとなると、成果が見えるのは10年、20年も先の話。「明日からできるまちづくり」をしようと、有志で立ちあげたのが「COME ON!!虎ノ門製作委員会」だ。

COME ON!!
TORANOMON



謎の覆面レスラー
参上!

虎ノ門
参上!

“Come on 虎ノ門”には

其の志 虎ノ門を世に広める
其の武 虎ノ門を衛守やすい街にする
其の参 虎ノ門を楽しい街にする



こんな
つぶやき
あります



「COME ON!! 虎ノ門製作委員会」の皆さん



銀座＝大人のまち、新橋＝サラリーマンのまち、霞ヶ関＝官庁街。じゃあ、虎ノ門っていったい何のまち?そもそもどこにあるの?…こういった世間の声に応えて、「COME ON!!虎ノ門製作委員会」は、「虎ノ門の認知度向上」と「街の活性化」のために、啓蒙活動、PR活動あるいはコ

ミュニティ活動などを、虎ノ門地域の店舗と連携して行っている。その活動の軸となるアイコンとして誕生したのが「カモ虎課長」だ。委員会メンバーの一人である小野寺学さんが、打ち合わせのときに何げなく描いたイラストだが、全員一致で「COME ON!!虎ノ門」のキャラクターに決定した。「戦うサラリーマン」をイメージして覆面レスラーを描いたという。カモ虎課長がつぶやいているステッカーは、虎ノ門の一部店舗で配布されている。現在、カモ虎課長の着ぐるみを製作し、今後は港区内のイベントにも積極的に参加予定だ。(6月14日(土)開催の「ふれ愛まつりだ、芝地区!」に参加決定)

4月からラジオ NIKKEI第1で「COME

ON!! TORANOMON RADIO SHOW(毎週月曜日午後10時～10時15分)」がON AIR中!カモ虎課長の活躍の様子や、虎ノ門のまちの魅力を、全国の皆さんに紹介している。

カモ虎課長は、デビューしたばかりの「虎ノ門非公認キャラ」だ。今後の活躍は未知数だが、遠からず新虎通りや虎ノ門ヒルズを堂々と闊歩している姿が見られるだろう。とりあえず、着ぐるみに入ってくれる人を募集 중이다そうだ。

[文 ■ 菊池弓可]

Information

COME ON!! 虎ノ門 製作委員会
株式会社大洋社内 小野寺 学
虎ノ門1-13-3
TEL 03-3503-3656

芝地区 いきいきプラザのご紹介

芝地区には、三田、神明、虎ノ門にそれぞれいきいきプラザがあります。「高齢者の生きがいづくり、学びの場」「介護予防、健康づくりの場」「ふれあい、コミュニティ活動の場」の3つのキーワードをコンセプトに建てられた施設です。平成23年(2011)に福祉会館という名称から「いきいきプラザ」に改め、高齢者だけでなく、より地域に開かれた施設としてリニューアルし、日々さまざまな活動が行われています。平成25年度の3館の来館者は、月平均約24,500人(三田5,500人、神明12,000人、虎ノ門7,000人)でした。

「ここに来れば、やりたいことがきっと見つかる」そんな施設をめざして、60歳以上(一部はおおむね50歳以上)の方を対象とした講座や、地域、公共機関、NPO、各種団体、企業などと連携し、多数の教室やイベントを実施しています。

講座の種類は豊富で、趣味・教養・娯楽から、運動やダンスまで、各施設を利用した開講中の講座は3施設で150近くにのびります。



ヘルシーランチプレート(虎ノ門)



三田、神明、虎ノ門それぞれ設備は多少異なりますが、集会室、敬老室、トレーニングルーム、喫茶があるのが特徴。神明には体育館があり、可動収納座席200席、椅子50席、計250席のホールとしても使用できます。神明いきいきプラザ館長の中野さんは「屋上のトレーニングスペースのほか、鏡張りのダンススタジオ、防音仕様の音楽スタジオなどがあり、各館の特色に応じた事業を展開しています」と話します。

喫茶では、栄養士や調理師が栄養バランスのとれたメニューを提供しています。カフェコンサートやギャラリー企画なども開催し、食べて、聞いて、見てと、さまざまに楽しめる空間になっています。講座やイベントに参加した後に、立ち寄ってほっと一息くつろいでいく利用者も多く、ふれあい、団らん場所にもなっています。

トレーニングルームでは、専門のスタッフが常駐し、利用者の健康づくりをサポートします。普段運動をしていない方でも、安心して利用できます。

「事業の周知がまだまだ足りず、皆さんに情報



カフェコンサート(虎ノ門・ロビー)



コンサート(神明・6階体育館)

が行き届かないことが今の課題です。今後、地域とのつながりをより一層深めていける施設にしたいです」と、中野さんは話してくれました。いきいきプラザに行けば、何か楽しめる、過ごせる、そんな施設です。ぜひご利用ください。

【文・写真※】米原剛



みたまつり(三田・敬老室)

Information

三田いきいきプラザ
芝4-1-17 TEL 03-3452-9421
神明いきいきプラザ(プラザ神明)
浜松町1-6-7 TEL 03-3436-2500
虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア)
虎ノ門1-21-10 TEL 03-3539-2941
●ホームページ [http:// www.toratopia.com](http://www.toratopia.com)

絵本と出会った日、覚えていますか？ ～絵本と心の出会いをつくる「みなと図書館」～



レンガ色の図書館

あたたかい日差しが降り注ぐ穏やかな土曜日。どこからともなく子どもたちの楽しそうな笑い声が聞こえてきます。緑が溢れる芝公園のお隣、ここは「みなと図書館」です。

「みなと図書館」では、月に2回程度(土曜日)、0歳～小学生を対象とした絵本のおはなし会を行っています。さあ今日はどんな絵本が登場するのか？ワクワクして、目を輝かせた子どもたちが集まってきました。

まずは手遊びで

午前の会は、0歳～3歳を対象とした「びよびよおはなし会」です。「みなさん、こんにちは!これからおはなし会をはじめますよ。まずは心の中にある、おはなしのろうそくに火をつけましょう」そう言って手遊びを始めたのは、図書館司書の大井恵里さん。一気に子どもたちを絵本の世界へと引き込みます。手遊びで子どもたちは上機嫌。楽しい気分になったところで、絵本の読み聞かせが始まりました。

さあ、絵本の世界へ

読み聞かせの絵本は「季節にあったもの」も選ぶようにしているという大井さん。この日の一冊目は「はじめまして」という絵本。絵本に登場する動物たちが「はじめまして、〇〇と申します」と自己紹介をしていくかわいらしい絵本です。春は新しい出会いの季節なので、この一冊を決められたそうです。

「子どもたちをいかに絵本の世界に引き込むことができるかを、常に考えて工夫しています」大井さんは子どもたちの反応を確かめながら、ゆっくりと丁寧に、優しい声で絵本のひとこま、ひとこまを届けていました。また、この日は港区立図書館児童サービスボランティアも読み聞かせをしました。

絵本と子どもたちをつなぐ仕事

大井さんが児童書の担当になったのは、今から約10年前。「子どものころから本が大好きで、子どもも好きなので、本と子どもたちをつなぐパ

イブ役のようなこの仕事に魅力を感じました。やはり子どもたちが絵本の世界に入り込んでくれているのを見ると嬉しいのです。また、私のオススメした絵本をおもしろかったと言ってもらえると、とてもやりがいを感じます」と話してくださいました。

「おはなし会」が終わったあとも、ほぼ毎回通っているという「常連さん」たちが、絵本の感想を話したり、オススメの絵本を教えてもらった、なかなか大井さんの周りを離れません。



子どもたちに囲まれて笑顔で絵本を読む大井さん。その姿は優しさに満ち溢れ、ぽかぽかとみんなを照らす「お日さま」のようでした。「みなと図書館」では子どもたちに「本に親しみを持ってもらいたい」と、さまざまな取り組みを行っています。

「おはなし会」に来ていた保護者にお話をおうかがいすると、「みなと図書館」に通信はじめたのは「ブックスタート」がきっかけだったそうです。「ブックスタート」とは絵本を通じて親子がふれあい、赤ちゃんが心健やかに育つようにと、「はじめの一冊」を赤ちゃんへお渡しする港区の取り組みです。昨年度は全館で1,500人の赤ちゃんに絵本をお渡ししたそうです。

絵本との出会い、そして親子のふれあい

ここ1、2年では「パパ」が子どもたちを「おはなし会」へ連れてくる光景を目にすることが多くなったといいます。子どもたちと本とをつなぐ図書館の取り組みが、「親子の大切なふれあい」をも生み出しているようです。

あたたかい日差しが降り注ぐ穏やかな土曜日。今日もまた、みなと図書館ではたくさんの「絵本との出会い」そして「親子のふれあい」が生まれていることでしょう。



左：図書館司書 大井、右：職員 茂森

【文・写真 ■ 齋藤恵里花】

Information

みなと図書館
芝公園3-2-25
TEL 03-3437-6621

都心のオアシス

旧芝離宮恩賜庭園

JR 浜松町駅の東側に広がる「旧芝離宮恩賜庭園(以下、庭園という)」は、四季折々の花が咲き、家族連れや仲間同士で散策を楽しめる場所です。

ここは、江戸初期の埋め立て地

天正18年(1590)、江戸に入った徳川家康は、江戸城の「大増築工事」や「外郭修築工事」を始め、江戸城南東側の埋め立てに力を注ぎました。その結果、現在の日比谷公園・日本橋・京橋や新橋などが次々と造成されました。

庭園の変遷

江戸時代の古地図を見ると、小田原藩大久保家の拝領していた期間が一番長く、延宝6年(1678)から文政元年(1818)まででした。

文政元年からは、堀田相模守屋敷・紀州藩邸・有栖川宮邸と変遷し、明治9年(1876)に「芝離宮」と改称し、迎賓館として活用されました。

大正12年(1923)の関東大震災で大きな損害を受けた庭園はその後、大正13年(1924)、東

京市に下賜されました。

遺跡調査で思いがけない発見

昭和53年(1978)、庭園の隣接地が「東京都都市計画特定街区」として開発されることとなり、昭和57年(1982)に、文化財保護法に基づく「発掘調査」を2回にわたって行いました。その結果、埋め立てられた堀割から、護岸用の「石垣」が見つかりました。他の調査区域からは、「陶磁器」や「人形」「木製品」など、数多くのさまざまな生活用品も発掘されました。「石垣」は、東京ガス株式会社の東側の敷地に復元され、行き交う人々の目を楽しませて

未来に伝える

江戸初期から人々の暮らしの地であったことから、当時の様子を伝えるさまざまな「生活道具」が見つかりました。また、敷地を分けるための



堀割に用いた「石垣」も発見されました。これらの一点一点から、先人の暮らしの様子が伝わってきます。

この素晴らしい庭園のみならず、この周辺地域も含めて散策して、江戸を感じてみるのも一興かと思います。

【文 ■ 清田和美】

●参考文献
旧芝離宮庭園調査団 旧芝離宮庭園
東京市芝区役所 芝区誌
小杉雄三著 東京都公園協会 旧芝離宮庭園
港区教育委員会 港区文化財のしおり

Information

旧芝離宮恩賜庭園
海岸1-4-1
TEL 03-3434-4029

区役所のサービスや施設・催しの案内はみなとコールがお答えします！

TEL03-5472-3710

年中無休
午前7時～午後11時

平成25年(2013)12月に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。その和食に欠かせない調味料がしょうゆです。日本人は古来、しょうゆのルーツでもある食物を塩蔵したものを「醬」と言い、食してきました。室町時代には液状のしょうゆが登場します。現在は濃口、淡口、たまり、再仕込み、白と種類も多く、中でも約8割と圧倒的なシェアを占めているのが濃口しょうゆです。

江戸初期までは上方から送られていた「下りしょうゆ」が出回っていましたが、高級品なので一般的ではありませんでした。

江戸時代中期には下総、常陸、上野、相模、下野にてしょうゆの原料となる良質な大豆や小麦が収穫され、関東でもしょうゆ造りが盛んに。やがて下総の銚子と野田が主流になり、関東しょうゆの一大生産地として発展します。この気候風土が微生物の発酵に適していたのです。現在も日本一の生産量となっています。しだいに濃厚嗜好の江戸っ子に合うよう醸造技術が進み、造られたしょうゆは水運を利用して大消費地の江戸に送られ、需要が拡大しました。濃口しょうゆは関東で造り出された佳品です。

江戸前の魚を生で食べるのに、生臭さを消すためわさびと混ぜたり、かつお節のだしと合わせたそばつゆができ、さらには砂糖を加えた旨みのある甘辛さのかば焼きや照り焼き、佃煮などが考え出されて、独自の江戸料理として発達したのが文化・文政年間です。



昭和5年(1930)当時の製品



蒸した大豆と炒った小麦に麹菌を加えて、製麹室に盛り込んで発酵させる

今や世界各国で、その国の料理に使われているしょうゆですが、その先陣を切ったのがキッコーマンです。大正6年(1917)に茂木・高梨一族と流山の堀切家の8家の醸造家が合同して、「野田醤油株式会社」を設立したのが始まりです。

昭和32年(1957)に、日本のしょうゆメーカーで初めてアメリカにしょうゆ販売会社を設立し、昭和48年(1973)にはしょうゆ工場が完成しました。これまでの原料の大豆と小麦を輸入して日本で造り、アメリカへ輸送するシステムが軽減されたのです。日本の将来を見据えると人口が減っていくだろうから、消費もそれに伴うだろうとの危機感と、海外でしょうゆをもっと拡大し定着させたいとの思いがあったそうです。アメリカでのしょうゆ需要は見事に当たり、順調に売り上げを伸ばしました。その後はアメリカにもう一つ工場を建設したほか、シンガポール、台湾、中国に2カ所、オランダにも生産工場を広げ、100カ国以上に届けられています。平成25年度は海外の売り上げが、日本での売り上げを抜いています。

しょうゆの醸造技術の進化をコーポレートコミュニケーション部の伊東宏さんにおたずねすると、「まろやかな味と香りのある特選丸大豆しょうゆが登場したこと、火入れをしない新鮮な生しょうゆが、開栓後、常温でも90日は鮮度が変わらない密閉容器入りが発売されたことでしょう」と説明されました。

これからもまだまだ醸造技術が進化し、世界中の多くの人々に、しょうゆとしょうゆを使った料理の素晴らしさを味わってもらえることでしょう。

【文 ■ 千葉みな子】

Information

キッコーマン株式会社 東京本社
西新橋2-1-1 TEL 03-5521-5131

●参考文献
山中伊知郎 著
「探検! ものづくりと仕事人 マヨネーズ・ケチャップ・しょうゆ」ベリかん社
江原純子・石川尚子・東四柳祥子 著「日本食物史」吉川弘文館
※写真・資料・取材協力/キッコーマン株式会社



明治初期のしょうゆ醸造の様子「大日本物産圖會・下総國醤油製造之圖」

はじめまして。ご近所ラボ新橋です!

平成26年(2014)4月1日、新橋6丁目にオープンした「きらきらプラザ新橋」。その1階の区民協働スペースに誕生したのが「ご近所ラボ新橋」です。

「ラボ」とは「研究室」や「実験室」のこと。ご近所ラボ新橋は「ここからはじまるご近所イノベーション」をテーマに、身近なところから、地域や社会をちょっとよくできそうな研究や実験を行います。

「地域のために何かはじめたいと思っているけれど、どうすればよいのかわからない」「一緒にしゃべりや活動する仲間がほしい」そんな皆さん、ぜひお越しください。

具体的には、自分が知っていることや、持っている技術を「お教室」ではなく、テーブルを囲んで教えたり教えられたりする「テーブル講座」、ご近所ラボを活動拠点とした「部活」、アイデアやひらめきのチカラを養うためのワークショップ「ラボカフェ」などを開催しています。

毎週火・木曜のお昼には「いっしょにランチ会」を実施。持ち寄りで食事会を行っていますので、ご近所の方も、そうでない方も、まずは気軽にお立ち寄りください。

【文 ■ ご近所ラボ番頭 清水りょうこ】



フェルトバッヂづくり

Information

ご近所ラボ新橋
新橋6-4-2 きらきらプラザ新橋1階
オープン日時: 毎週火・木曜正午〜午後6時、
第2・第4土曜午後1時〜6時(臨時休館の場合あり)

●ホームページ <http://gokinjo-i.jp/gilab/>

【問合せ先】芝地区総合支所協働推進課地区政策担当
TEL 03-3578-3192

愛宕神社

私が「芝にある風景」を描き始めて1年が経ちました。芝地区地域情報誌を読んでくれた多くの友人たちから連絡をもらい、中には「ぜひ芝を案内してほしい」との相談もありました。そこで私は4月に芝巡りを企画し、友人たちと芝地区の見どころを巡りました。その時に訪ねた場所のひとつに愛宕神社があります。私は、毎年行われる千日詣り(ほおずき市)に立ち寄ることが多いのですが、昨年は千日詣りに外国人の姿も見られ、国際的になってきたなと思いました。

4月の芝巡りの下準備も兼ねて、今年初めて愛宕神社を訪れたのが1月。いつも通り出世の石段として有名な男坂の階段を上り、本殿へ向かい参拝しました。その後、久しぶりにNHK放送博物館にも立ち寄りました。愛宕神社の男坂を上るのが難しい方にはエレベーターがあり、エレベーターで上がると境内へ向かう途中にNHK放送博物館があります。館内の4階では、番組の公開ライブラリーで、昭和30年代に放映され人気があった「私の秘密」「ジェスチャー」「お笑い3人組」の録画を観ることができ、とても懐かしい気分になりました。事前に申し込みをすると解説員が館内を案内して、説明をしてくれるそうです。

6月に行われる千日詣りと合わせてNHK博物館にも訪れることで、よりノスタルジックな世界観が楽しめますので、ぜひ訪れてみてください。



絵・文 大野正晴

●大野正晴

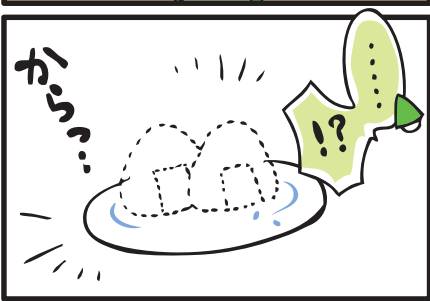
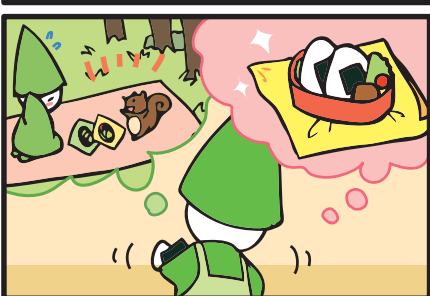
昭和26年(1951)生まれ。新橋で生まれ育つ。幼少の頃から絵に興味を持ち、約50年間にわたり、スケッチやイラストを描き続けている。作品にはファンも多く、ボランティアなどの活動を通じ、作品の寄付なども行っている。35年間新橋タコク金物(株)に勤務。



芝次郎のおべんとう



今日はお弁当をつくっています



つまみくい だいたん だいたん

eco design ※え・まつもとがさく

お知らせ 臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金のお知らせ

平成26年1月1日時点で住民票が港区にある人を対象として、区が給付を行う事業です。

	臨時福祉給付金	子育て世帯臨時特例給付金
対象者	平成26年度分の区民税(均等割)が課税されていない人 ※区民税が課税されている人の扶養親族は対象となりません。	平成26年1月分の児童手当の受給者で、平成25年の所得が児童手当の所得限度額未満の人 ※臨時福祉給付金対象者は対象となりません。
給付額	給付対象者1人につき1万円 ※高齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金、児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者には、5,000円の加算措置があります。	対象児童1人につき1万円

※生活保護制度の被保護者は、保護基準改定により対応したため、対象となりません。

今後のスケジュール

対象となる人には、7月中旬に港区からお知らせ・申請書を送付します。受付期間は、7月中旬から平成27年1月中旬までです。

なお、区内在住の公務員で平成26年1月分の児童手当を受給している人には、勤務先から申請書と児童手当受給状況証明書が交付されます。受付期間内に子育て世帯臨時特例給付金担当まで申請してください。※手続きの流れについて、広報みなと7月1日号でお知らせする予定です。

給付金を装った「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください。

問合せ先 臨時福祉給付金担当・子育て世帯臨時特例給付金担当
TEL 3578-2844・2845

芝地区MAP

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。ウォーキングマップとしてご活用ください。



①～⑩は旧町名由来の設置場所
※⑪は現在、欠番となっています。

- ① アンダーズ 東京→P1
- ② CAFE and DINING FORESTA TORANOMON→P3
- ③ とらトピア→P4
- ④ プラザ神明→P4
- ⑤ 三田いきいきプラザ→P4
- ⑥ 旧芝離宮恩賜庭園→P4
- ⑦ みなと図書館→P5
- ⑧ キッコーマン株式会社 東京本社→P6
- ⑨ ご近所ラボ新橋→P6
- ⑩ 愛宕神社→P7

芝地区掲示板

お知らせ

「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち!～」に参加しませんか



芝地区では、年間に10回、町会・自治会、商店会、PTA、事業所、警察、消防など、地域の皆さん約200～350人が協力し、「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち!～」を実施しています。このキャンペーンでは、「みなとタバコルール」の周知・啓発活動をはじめとして、地域の清掃

活動、放置自転車や路上看板への警告札貼り付け、ガム痕の除却などを行っており、平成25年度は延べ2,700人以上の方にご参加いただきました。

また、地域の皆さんの交流を促進し、お互いに助け合えるまちをつくることも活動の目的としています。参加を希望される方は、当日、直接会場までお越しください。

●今後の実施予定は以下のとおりです。

実施予定日	活動場所(集合場所)
6月12日(木)	虎ノ門駅・神谷町駅周辺(虎ノ門36森ビル広場)
7月17日(木)	内幸町駅・御成門駅周辺(南桜公園)
9月18日(木)	新橋駅・内幸町駅周辺(桜田公園)

※年間スケジュールは、港区ホームページをご覧ください。

●午前8時30分から約1時間の活動です(午前8時受付開始)。

●必要な用具などはすべて貸し出ししています。

●参加された方には芝地区キャラクター「芝次郎」の記念品を差し上げます。



問合せ先

芝地区総合支所協働推進課協働推進係 TEL03-3578-3121

条例で定める「みなとタバコルール」の内容

〔港区内で暮らす人や働く人、訪れる人など全ての人が守るべきルールです〕

- ① 公共の場所において、たばこの吸い殻をみだりに捨ててはならない。
- ② 公共の場所(指定喫煙場所を除く)において、喫煙をしてはならない。
- ③ 公共の場所以外の場所において喫煙する場合に、公共の場所にいる人にたばこの煙を吸わせることがないよう配慮しなければならない。

※公共の場所とは、区内の道路、公園、児童遊園、公開空地その他公共の用に供する場所(屋外に限る)をいいます。

みなとタバコルール条例化



路上喫煙
禁止!



ポイ捨て
禁止!

芝地区生活安全・環境美化活動推進協議会
港区芝地区総合支所協働推進課



みなとタバコルールをさらに進めるために 「港区環境美化の推進及び 喫煙による迷惑の防止に関する条例」を施行します

港区では平成9年(1997)に「港区を清潔できれいにする条例」を制定し、快適な生活環境の確保に取り組んできました。しかしながら、近年、建物内の禁煙化が進んだため、路上での喫煙やたばこの吸い殻のポイ捨てなども多く見られるようになりました。そこで「港区を清潔できれいにする条例」の名称を「港区環境美化の推進及び喫煙による迷惑の防止に関する条例」と改め、これまでも区が進めてきた「みなとタバコルール」の内容を条例で明確に規定することで、より快適な生活環境の確保をめざします。

※「港区環境美化の推進及び喫煙による迷惑の防止に関する条例」は平成26年7月1日から施行します。

お知らせ

第9回「ふれ愛まつりだ、芝地区!」を開催します

地域の皆さんが参加し、出店やコンサートで地域の交流を深めます。ゲームやスタンプラリーなどで、楽しい1日を過ごしましょう。

とき 6月14日(土) 午前10時～午後3時(予定)

ところ 区立芝公園

※小雨実施・荒天中止の場合あり



問合せ先

芝地区総合支所管理課管理係
TEL03-3578-3191

「ふれ愛まつりだ、芝地区!」に「芝会議」が出店します

芝地区総合支所区民参画組織「芝会議」の3つの部会が出店します。

- まちの魅力発掘部会 …… 芝公園付近を巡るまち歩きミニツアーほか
- まちづくり部会 …… 防災についてのパネル展示ほか
- 地域コミュニティ部会 …… 大声コンテストほか

問合せ先

芝地区総合支所協働推進課地区政策担当
TEL 03-3578-3192

お知らせ

平成27年(2015)芝地区 総合支所カレンダーを作成します

カレンダーに掲載する写真として、あなたが芝地区で撮影した四季折々の風景や思い出の場所、心に残る場所などの写真を募集します。

作品には住所(在勤、在学の方は所在地も明記)、氏名、電話番号、撮影月、撮影場所を添えて、8月22日(金・必着)までに、「〒105-8511芝地区総合支所管理課」まで写真(CD-Rなど)を郵送、または持参にてご応募ください。

※人物を特定できる写真はご遠慮ください。採用作品は港区が無償で使用できるものとします。応募作品はお返しできません。



問合せ・郵送先

芝地区総合支所管理課管理係
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
TEL03-3578-3191

●本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。
菊池弓可／清田和美／桑原庸嘉子／齋藤恵里花／
作田宗子／柴崎郁子／柴崎賢一／千葉みな子／
早川由紀／日沖剛／町田明夫／森明／森田友子／
湯原信一／米原剛(五十音順 敬称略)

●今後の発行スケジュールは次の通りです。
H26.9.1発行(第32号)、H26.12.1発行(第33号)
H27.3.1発行(第34号)、H27.6.1発行(第35号)

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設等で配布しています。

芝地区地域情報誌編集委員を募集しています!

芝地区の話題を発掘、取材し、執筆していただく地域情報誌編集委員(記者)を募集します。

- 対象 芝地区管内に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人
- 内容 地域の話の収集、取材、写真撮影、原稿作成など(年4回発行予定)。発行予定ごとに平日の昼夜間に2時間程度の取材と、平日夜間に2回程度編集会議への参加があります。
- 申込み 氏名、住所(在勤、在学の方は所在地)、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、下記の芝地区総合支所協働推進課まで、ファックスまたは郵送でお申込みください。
- その他 報酬、交通費等の支給はありません。



港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1丁目5番25号(港区役所2階)
TEL03-3578-3193 FAX03-3578-3180

ホームページ

<http://www.city.minato.tokyo.jp/>